

中央線沿線の山 百蔵山 山行報告

9月の例会に沈さんが見学されて、帰りに千葉駅で一緒になり色々おしゃべりしました。山登りの経験はあるけど装備はこれからということなので、では山行の後、山ショップを見に行けるよう中央線沿線の山を選び日帰りハイキングへ行きましょう、ということになりました。当初10月を予定したもののうまいかず11月となり「天気とくらす」はCでありよりよくなかったが迷った末、そう悪くもないように思えて決行としました。

山行日： 11月11日(土) ほとんど晴れ

山域 山名： 大菩薩嶺 中央線沿線 猿橋駅 百蔵山(1003m)

参加者： 井上志津子(CL,報告)、沈 巧巧(ちん たくみ)

コースタイム： 高尾駅 8:20—8:52 猿橋駅—9:30 猿橋—登山道 10:00—12:30 百蔵山頂上
13:00 下山開始—14:20 猿橋駅

沈さんがちば山の会で初めての山行なのでまずは自己紹介をお願いしました。

簡単な自己紹介をします。

沈 巧巧(ちん たくみ)と申します。2001年に来日して16年経ちました。今年の10月にちば山に入会させていただき、これからよろしくお願ひします。

先週の土曜日、井上さんのご好意で、猿橋→百蔵山へ同行させていただきました。桃太郎の話はよく聞きますが、百蔵山との関係を初めて井上さんが教えてくださって、日本語及び日本文化をもっと勉強しなきゃと感じました。

最初天気を心配しましたが、登り始めからずっと快晴で、富士山も綺麗によく見えました。



沈さんです 猿橋上で紅葉が見ごろ



これが猿橋

報告：沈さんは稲毛駅、井上は柏駅で6時半頃それぞれ出発して連絡をとりあいながら、高尾駅からの車内で合流でき、猿橋駅に着いた。天気が心配で先に「猿橋」見物をした。「錦帯橋」、「木曾の棧」とともに日本三奇橋だそうで猿がつながって向こう岸へ渡らせることをイメージ

させるつくりである。ひとつひとつの横木に屋根が付いている。桂川の溪谷美によく似合う。寄り道したので登山道スタートが 10 時になった。東南面に急登があるのでこちらを選び、しばらく進むと地図の線が切れて藪道ようになり、コンパス頼りに 20 分程進むと登山道がみつき、そろそろ着くかと思いきやさらに急登の始まりとなった。沈さんは身軽でストックなしですいすい登っていく。私のほうは色々あって休み休み、運動不足を感じる歩きであった。沈さんはすでに筑波山、富士山など登っている。また、9 月には 15km のマラソン大会にでて完走したそう。前後して頂上に着いたのは 12 時半であった。



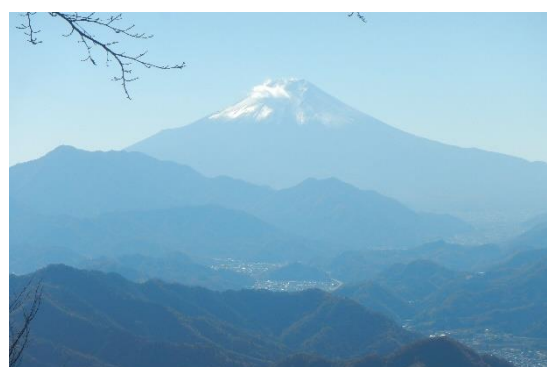
お屋敷の見事な紅葉



頂上直下は急登でロープの用意も



富士山(中央)とスリーショット



すばらしい富士山を望めた

天気予報がよくなかったので、頂上でのゆっくりランチは諦めて、行動食をとりながら、良い天気なのにツェルトをひろげて 2 人でかぶったり、ハイキングレスキューセットを見せたりした。下山後山ショップへ行く予定なので、ゆっくりもできず、写真を撮って下山開始とした。こちらはおだやかな西斜面で 2 人とも快調に歩を進めた。1 時間半で車道に着き歩いていると 1 台の軽自動車が止まり、80 歳くらいの男性が駅まで送ってくれるという。断らずに乗せてもらおうとグラウンドゴルフの帰りだそうで、猿橋駅に着くと「では 100 円ね」と言われ、100 円ずつ渡し妙に納得した。(よいこはまねしないでください)。これで歩くのが 30 分程節約できた。沈さんの滑らかな日本語で覚えたての中国語は出番がなくて次回の課題となった。途中カモシカスポーツに寄りコーヒーをいただき、ヘッドランプやシルバコンパスなど購入して解散した。思いやりがあり興味ある話題が楽しい山行でした。